

KA JI MARU
鍛冶丸

第9号

平成30年
3月1日



郷土史を訪ねて②「走る博物館」

「勝興寺と一向一揆の歴史を学ぶ」 平成29年10月10日(火)
加賀二俣 松扉山 本泉寺(石川県金沢市二俣町)

主な内容

- ・ 古文書ボランティアに参加して 2
- ・ 金沢の寺社めぐりの雑感 3
- ・ 「『旧・千保川』と『ガメ川』の痕跡を擦る^{なぜ}」に参加して 4
- ・ 親しむ会に参加して 5
- ・ 茶室「松聲庵」のご案内、会員募集のご案内、博物館ボランティア募集 ... 6

こ もん じょ 古文書ボランティアに参加して

高岡市立博物館に親しむ会 会員 大重 美智子

広い部屋に漂う懐かしい雰囲気、silver hairの人々が凝視する古紙の仄かなかおり。ここは博物館の二階、月に一度「古文書ボランティア」が行われている部屋です。

三年前、初めて博物館の古文書講座に参加したことがきっかけでこの部屋に来ることとなりました。講座の鮮烈な印象が私の心を捉えたのです。教材は「女今川」といって、江戸時代から明治初期にかけての女子教育二十三ヶ条の古文書でした。その中にあった一つ、「夫をかるしめ われを立て天道を恐れざる事」。明治生まれの親に育てられ、戦後価値観の激変の波の中で教育を受けた私さえgeneration gapを感じました。「女子が輝く時代を」という今、この条の背景を理解出来る人は何人いるでしょうか。最初の教材を一字ひともし指でなぞり、つまずきながら読んだ（今も解説文字が頼り）新鮮さと楽しさが、古い字体を見ると読みたくなる気持ちを支えています。インターネットの古文書講座にいくつか触れてみましたが「古文書を学ぶには近道、早道はありません。ひたすら努力を重ねるのみです」と。



私を助けてくださる何人かの皆さんの中であって、参加する度にほんの一字でも読めるころ、字が増える喜びが私を博物館に向かわせます。解説は勿論、折に触れ文書の時代背景や歴史的意義を話してくださる学芸員の先生やstaffの皆さんもwalking dictionaryの存在です。静寂の中「いかがですか」と時々助けに来て下さる先生はありがたいです。

十五年前位に他の目的で一緒だった仲間も「ほとんど病気やね」と最近参加してこられたのも楽しいことのひとつでした。部屋で出会った一つの古文書があります。高貴な家柄であつたらうお茶席の献立表でした。横半紙に認められた見とれるような流れる美しい文字、大切にしておきたい心揺さぶる一枚でした。その上短歌まで添えて。こんな文字を書いた人はどんな人だったのだろうか…とつい想いに耽ってしまいました。

これからもどんな文書に出会えるか楽しみに参加したいと思います。

高岡市立博物館では、
古文書の寄贈や所在情報
などを求めています。
ささいな情報でも
かまいませんので、
ぜひお寄せください！

● 高岡古文書ボランティア

● 募集要項 ●

以下の内容をご覧ください、
ふるってご参加ください。

1. 参加条件

- 《必須》「高岡市立博物館に親しむ会」会員
《次のいずれか》
- ・古文書講座を受講したことのある方
(博物館「初めての古文書教室」以外の講座でも可)
- ・古文書調査や整理の経験のある方

2. 参加費

なし (ただし「高岡市立博物館に親しむ会」の入会必要)

3. 参加方法

申し込み不要 (当日、博物館までお越しください)

4. 活動場所

高岡市立博物館 2階第2企画展示室

5. 活動日時

毎月第3土曜日の午後2時～3時30分に開催
※11月のみ第2土曜日開催

平成30年度の活動予定日

4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、
11/10、12/15、H31.1/19、2/16、3/16

6. 事業担当

仁ヶ竹 亮介 (高岡市立博物館 主査学芸員)

高岡市立博物館に親しむ会 事務局

〒933-0044 高岡市古城1-5

TEL 0766-20-1572 FAX 0766-20-1570

メールアドレス: info@e-tmm.info





金沢駅



玉泉寺



高峰譲吉博士 菩提寺・国泰寺

金沢の寺社めぐりの雑感

高岡市立博物館に親しむ会 会員 長濱 實

曇天の金沢駅から市内バスで沼田町に下車した頃、ポツリポツリと降り出した。高岡市立博物館一行はここから寺町（野町を含む以下同じ）周辺の寺社めぐりを開始。樽谷さんの名解説に時々入る軽妙なジョークで気持ちよく見学した。数カ所見学した寺社のうち印象に残った所を記述する。

玉泉寺は利長夫人で信長の五女永姫の位牌所。境内の左奥に永姫の五輪塔が苔むして残っていた。利長夫人にしては淋しい姿である。

国泰寺は高岡国泰寺の末寺。正面横に高峰譲吉博士の説明立札がある。我々は博士は高岡出身と自負しているが、金沢の人は金沢生まれと思い込んでいるらしく違和感をおぼえた。寺町には数多くの寺社が散在するがいずれも小さく貧弱に見える。高岡のお寺は少数だがいずれも本堂など構えが大きく堂々としている。これは寺町の寺社は越中など他所から移転した為か建物も小さく、地元の門徒衆もいないのか寺社の運営が厳しいものと思われる。

金沢の中心街。尾山神社の裏門に到着。周辺の説明を聞いた後、拝殿をバックに記念撮影。そのあとグランドホテル横を通ってすぐ「高岡町」の立看板がある。ここは昔越中高岡から多くの家臣達が集団移転して高岡町とした所。かなり広い町で高岡の名がついた小学校もある。私は金沢勤務時代、高岡町の人々と会話したことがある。

「ほんならあんた越中高岡の人か？ほーか」と金沢弁。「そんながやちゃ、そやけどおらんところは高岡町の本家やぞ！」などと互いに地元弁でたちまち仲良くなって愉快だった。隣接の玉川公園をすぎた頃からドシャ降りとなったが、珍しい狛犬見物に元気を出して歩いた。金沢駅は近い。

雨や汗を拭いながら熱心に説明して下さった樽谷さん、お世話していただいた博物館職員の皆さんに感謝しながら帰路についた次第。



尾山神社



高岡町



「狛ライオン」（白鬚神社）

表彰



当会会長の太田久夫氏
（前富山県郷土史会会長）
おきなきゅういん
2018年2月3日に第30回翁久允※賞
を受賞されました。



当会副会長の多田慎一氏
（第一物産株式会社 代表取締役会長）
2017年10月25日に2017年度
財務大臣・国税庁長官納税表彰を
受けられました。

※翁久允は富山県出身の作家・
ジャーナリスト・郷土史研究家

おめでとうございます!!

「『旧・千保川』と『ガメ川』の痕跡を擦る」に参加して

高岡市立博物館に親しむ会 会員(町家体験ゲストハウス「ほんまちの家」管理人) 加納 亮介

■参加のきっかけは「ガメ川」

博労小学校周辺の住民のみなさんと一緒にまちづくりのお手伝いをさせていただく中で「ガメ川」の存在を知ったことが今回初参加のきっかけです。「昔はガメ川で洗い物をしていた」「冬は雪捨て場として大切な水路だった」「こどもの頃は教恩寺さんの裏手が遊び場だった」など。現在は暗渠^{あんきょ}になってしまったガメ川を辿る、という企画内容がとても魅力的でした。

■地形や自然環境がつくりだす人の生業と暮らし

「河岸段丘の上に形成された城下町都市・高岡では、千保川の水運を活用して物資を運搬し、船着場の周辺には青果や魚介の市場・加工場が集積していく」。普段何気なく歩いている道でも地形や看板に注目してみると、かつて栄えた生業や人々の暮らしの風景が見えてくることを今回のまちあるきで感じることができました。



暗渠となったガメ川が千保川に流れ込む



白金町交差点付近の高架橋下



樽谷先生と若い参加者の方々

■高岡を住み継ぐ

2017年に小馬出町にオープンした「山町ヴァレー」では、山町筋界隈での生業や暮らしに関する思い出や記憶を集める「思い出地図づくりプロジェクト」に取り組んでいます。金融業を中心に繊維問屋業、水産加工業、材木加工業など多様な商いの人々が行き交い、映画館やマーケットで買い物や娯楽を楽しむ。かつての暮らしの様子（町衆文化）を一枚の地図に表現することで来街者や若い世代へ歴史文化を受け継ぎきっかけになればという願いがこもっています。

また、「町家体験ゲストハウス ほんまちの家（本町1-24）」は築80年の空き家だった町家を改修し、まちなかでの暮らしを体験してもらうことを目的に2014年より開始した宿泊施設です。近所の魚屋で買い物をしたり、銭湯で番台さんとおしゃべりをしたり、ご近所さんや移住者の方々とごはん会を開いたり。高岡に暮らす「人」を通じてこのまちの魅力を少しでも感じてもらえるように日々試行錯誤しながら運営をしています。現在では、「暮らしているかのような旅をしたい!」「第二の故郷を見つけたい!」といった旅人や移住希望者、「日本の暮らしを体験したい!」といった外国人など幅広い方々に利用していただいています。

私一人ではできることが限られていますが、高岡のまちなかに生きている暮らしの歴史や文化を少しでも受け継ぎ、次の世代へ引き継げるようにこれからも努力していきます。

※「思い出地図づくりプロジェクト」では地図の制作にあたり高岡市立博物館より資料提供をいただきました。心より感謝申し上げます。



来年度も
みんなの
参加を
待ってるよ!



築80年の町家を改修した「ほんまちの家」



昔の思い出を辿るまちあるきイベント

親しむ会に参加して

高岡市立博物館に親しむ会 会員 沖 よし子

私は郷土学習講座に参加したことを契機に、高岡市立博物館に親しむようになりました。

歩く博物館『「旧・千保川」と「ガメ川」の痕跡を擦る』[平成29年11月14日(火)実施]では、私が小学生の頃ののどかな時代、まさに道草をするために回り道していた懐かしい場所の数々を、講釈を聞きながら巡りました。それはまるで宝石箱からこぼれ落ちる様に、道の随所に歴史をのぞかせながら参加者の私たちを魅了しているかのように感じられました。それも講師の樽谷先生の研究・調査に基づいた解説のおかげです。この回では、若い学生さんも参加されていたのが印象的でした。



土山御坊跡（南砺市土山）



善興寺址（小矢部市下後廬）

走る博物館『勝興寺と一向一揆の歴史を学ぶ』[平成29年10月10日(火)実施]では、伏木に勝興寺が出来た歴史を遡り、砺波野の山奥の果てまで史跡を訪ねて、普段車で傍を通っても気付かないような石碑などを見て回りました。それぞれに貴重な歴史が刻まれていて、またひとつ教養を深められたように思います。なかでも、【熊出没注意】という立て看板を見つけた時、一人では来ることが困難な場所まで来たんだなぁと改めて感じさせられました。また、終点の勝興寺でも詳しく分かり易い説明があり、歴史の旅を思いきり堪能した気分になりました。

私は現在、高岡の観光ボランティアとして活動しています。いわば「高岡のおもてなし人」でもある私は、普段から高岡の歴史と文化にとっても興味を持っており、毎回多くの方が参加される「歩く博物館」や「走る博物館」で、歴史好きの参加者の方に高岡の歴史にまつわる色々な裏話を聞くのも行事に参加する楽しみのひとつとなっています。また、そこで得た知識を織り交ぜながら観光客の方に説明すると、より興味を持って話を聞いていただけたりと、自身の活動にも非常に役立っています。



現役勝興寺ガイドの会員 島さんによる解説

これからもこういった生涯学習の機会を存分に活かし、勉学を続けていきたいと思っています。



親しむ会 呈茶席

てい ちゃ せき

親しむ会ワークショップ部会では、毎年春と秋に各4回（計8回）、茶室「松聲庵」の掛待合にてお抹茶とお菓子をふるまう呈茶席をもうけています（土曜日 11：00～・参加費300円）。茶道のお作法をご存じなくても、どなたでもお気軽にご参加いただけるものとなっています。来年度も実施予定ですので、ぜひお越しください。詳しい日程は決まり次第お知らせいたします。



しょうせいあん 茶室「松聲庵」のご案内

利用料：1日につき 4,320円(税込)



茶室「松聲庵」は、裏千家淡交会高岡支部 創設30周年を記念し、昭和46年10月に同支部から高岡市へ寄贈されました（現在は高岡市立博物館が管理）。設計は当時の支部長・在田宗貴氏。外観は切妻造で、前面に深い庇を下ろし、正面の貴人口は二枚引き違い腰障子で、周囲には下地窓、連子窓、風炉先窓がとられ、腰部分にはヒシギ竹が張りめぐらされています。庇の上の扁額「松聲庵」は、裏千家 第15代家元・千宗室氏（現 鵬雲斎千玄室大宗匠）の書によるものです。内部は九畳本勝手下座床、水屋付きの茶室となっており、腰掛待合も備えられています。

なお、個人・団体等への貸し出しも行っておりますので、ぜひお気軽にご利用ください。



● 平成30年度 会員募集のご案内 ●

高岡市立博物館に親しむ会では、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行います。あなたも会員となって、郷土への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりに参加してみませんか。

■主な活動

- ・博物館の諸活動の協力、支援
- ・高岡地域の歴史と文化に親しみ、互いに親睦を図る活動
- ・ミュージアムショップの運営 ほか

■年会費

- ・一般会員 1口 1,000円 ・賛助会員 1口 5,000円

■会員の特典

- ・企画展、特別展、講演会などのご案内
- ・歩く博物館行事への参加、高岡古文書ボランティアでの活動、呈茶席などのご案内
- ・会報誌「鍛冶丸」の送付・郷土学習講座等の受講料割引
- ・図録の進呈（賛助会員のみ）

■申込方法

○直接、事務局に申し込みする場合は、入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えて「高岡市立博物館に親しむ会」事務局へお申込みください。入会申込書は「高岡市立博物館に親しむ会」のホームページに掲載しております。

○郵便振り込みをご利用の場合は、振込用紙『振込取扱票』に以下の項目をご記入の上、郵便局にてお振込みください。なお、振込手数料は各自でご負担をお願いいたします。

- ・口座記号：00760-8 ・口座番号：100749 ・加入者名：高岡市立博物館に親しむ会
- ・金額：年会費の金額 ・ご依頼人：郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、性別、年齢

親しむ会では、各種部会のメンバーを募集しています。

1. 研修部会 事業企画、歩く博物館等サポート
2. 広報部会 会報誌「鍛冶丸」の作成
3. ワークショップ部会 呈茶席運営・サポート
4. 高岡古文書ボランティア部会 古文書の整理等



高岡市立博物館ボランティア募集

高岡市立博物館では、博物館事業・親しむ会事業の各種イベント時に手伝っていただけるボランティアを募集しています。

＜ボランティアの主な内容＞

- ・総会、呈茶席事業、歩く博物館事業、屋上開放（桜の時期）、郷土学習講座等の受付など
- ・各種イベント等の駐車場誘導

○ボランティアの申込は博物館事務所に随時受付しております。



あなたも「鍛冶丸」に投稿してみませんか？

親しむ会では、親しむ会行事に参加した体験談や、親しむ会に対する思いを寄せて下さる方を募集しています。投稿希望の方は、親しむ会事務局までお知らせ下さい。